

AGROLibのこれから

～アーカイブからリポジトリへ～

農林水産技術会議事務局
筑波事務所研究情報課
(農林水産研究情報センター)

本日説明する内容

- AGROLibの現状と問題点
- 機関リポジトリとは
- なぜ今のままではいけないのか
- データ作成のお願い
- AGROLibの未来

AGROLib

(農林水産研究成果ライブラリ)

- 農林水産省関係試験研究機関等、公立試験研究機関、大学等の紀要・研究報告、学・協会誌などの刊行物の全文をデジタル化して公開
- 収録年次：1895年～
- 蓄積件数：約13万件(2007.5現在)
- 言語：日本語、英語

AGROLibの提供ページ(現状)

The screenshot shows the AGROLib website interface. At the top, it says "Digital Contents Data Base" and "農林水産研究成書ライブラリ". Below this is a navigation menu with options like "論文から探す" and "農家や農業に関する歴史的资料が見たい". The main content area displays a list of research articles under the heading "作物研究所".

種 別	掲載誌名・発行年 月
サンマイモ産野主植物の系統分類およびその育種的利用に関する研究	作物研究所研究報告 第1号 a 1-58 (2001-8)
子実用アマランサス新品種「ニューアステカ」の育成	作物研究所研究報告 第1号 a 57-70 (2001-8)
小麦新品種「さめあすま」の育成	作物研究所研究報告
日本のコムギ品種に特有な種子貯蔵タンパク質分子サブユニットの遺伝的多型とその育種的利用	作物研究所研究報告 1, 57-70 (2001.8) (作物研報)
低アミロース食味特水稲品種「ルキークー	
籾の粘着安定性に優れた雑穀系品種「小野	
「ホト」検定法による小麦の熟成度検定	
もち付小麦品種「あまのもち」及び「心」	
の特性	
サンマイモ新品種「クイックスイート」	
細粒用水稲新品種「カサナミ」の育成	
樹林超着生ダイズ品種「作系4号」の育成	
サンマイモ新品種「パールスイートロード」	
高ノグナン含有小麦新品種「こまぞう」の育成	

子実用アマランサス新品種「ニューアステカ」の育成

藤田真澄・古明地通孝**・奥山善直**・本田 裕**・白戸知子・中谷 誠

抄 録

子実用アマランサスの新品種「ニューアステカ」を育成した。本品種は、導入選抜系統「メキシコ系」にγ線を種子照射し、選抜固定した短茎系統である。「メキシコ系」に比較して短茎・早生の系統で、機械収穫作業適性が高いことから、若手県の奨励品種に採用された。

キーワード：子実用アマランサス、新品種、短茎、早生、機械収穫

Abstract

A new grain amaranth variety "New Aztec" was developed using a gamma-ray induced mutant of "Mexico line". "New Aztec" is characterized by a very short plant type and early maturity compared to "Mexico line". "New Aztec" showed a good adaptability to machine harvesting and was released as a recommended variety in Iwate prefecture.

Key Words: Grain amaranth, Amaranthus spp., New Variety, Short-plant type, Early maturing, Machine harvesting

全文

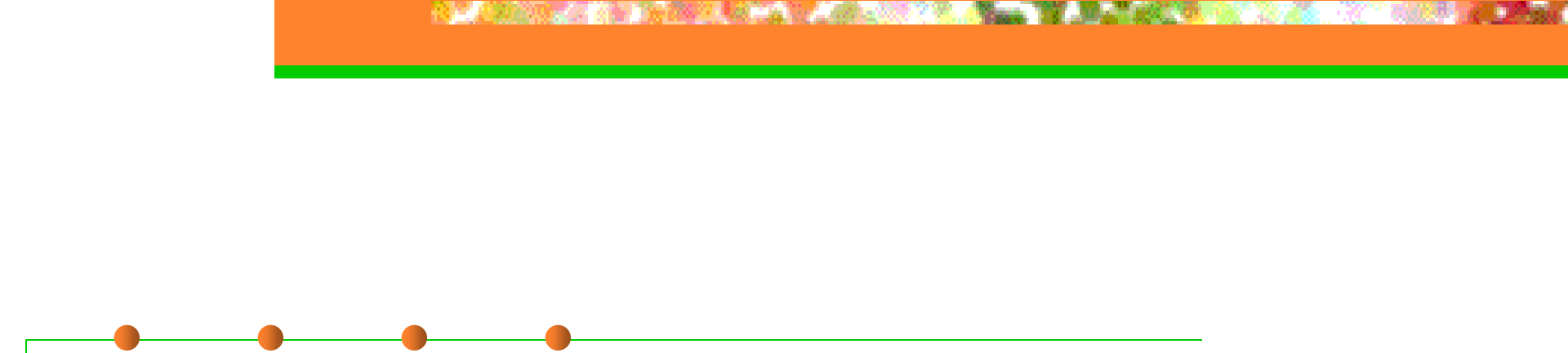
雑誌を選んで、目次から読みたい論文を探す。⇒何か物足りなくないですか？

AGROLibに足りないのは検索機能

- 今のままでは掲載誌がわからないと、論文までたどり着けない。

* 検索機能を持たせるためには

検索用データを作る必要がある



ところで

「機関リポジトリ」をご存じですか？

「機関リポジトリ」って何？

- 研究者が作成した(論文や学会発表資料などの)学術研究成果物を、**電子的形態で収集・保存し、公開**するシステム。
- 現在、国内外の多くの大学・研究機関で構築および公開が始まっている。
- GoogleやGoogle Scholarなどから検索されることにより、**全世界から論文にアクセス**される。
- アクセス増加により、研究所の**社会的価値の向上**が見込める。(広報的戦略)

これからデータを作るなら・・・

- 機関リポジトリと同じにしたら？

検索用データを共通のフォーマットで作ることで、大学等他機関との交換やGoogle等へ提供が可能となり、インターネット上で検索・閲覧される機会が増える。

⇒それが**メタデータ**

今のままでは検索できない訳

- 目次一覧には巻号ページと論題しかなく、検索に使うには不十分
- 画像PDFファイルが多い
- 縦書きや旧字体の論文があるので全文検索も難しい

まずは新規データ分から

- これからAGROLibへ掲載する各機関の研究報告等について、論文のPDFファイルを提供する際、論文毎にメタデータを作成・提供して頂けないか。

今後の課題

- ● ● ●
 - メタデータフォーマットの作成
⇒ JuNii2 準拠？
 - データの入力方法
⇒ ファイル、Web？
 - 検索システム
 - バックナンバー及び農林水産研究機関以外の刊
行物のデータ作成
⇒ 予算獲得

AGROLibの未来

蓄積しておくためのアーカイブ



多くの人に利用される

サブジェクトリポジトリ



みなさまのご協力によって

AGROLibをますます便利に！